

# 祈りの歌 未来の希望に

## 被災者による鎮魂歌合唱 10周年

阪神大震災などの大規模災害の犠牲者の追悼と未来への希望を歌に込め、被災者たちが鎮魂歌を合唱する「レクイエム・プロジェクト」が、来年で10周年を迎える。1月21日に神戸市中央区の神戸文化ホールで記念コンサートが開かれ、東日本大震災の被災者らを含む総勢約230人が歌声を響かせる。  
【木田智佳子】



10周年記念コンサートに向け練習に熱が入る「神戸いのりのとき合唱団」。指揮は上田益さん—神戸市灘区で

## 来月21日 神戸でコンサート

プロジェクトは、1999年から神戸ルミナリエの会場音楽を作っている大阪出身の作曲家、上田益さん(61)＝東京都＝の提唱で始まった。

阪神大震災の被災者たちが、音楽で少しでも苦悩から解放されるようにと、2008年、鎮魂曲(レクイエム)を歌う市民合唱団「神戸いのりのとき合唱団」を結成した。公募で集まった10、80代のメンバー65人。

多くは合唱未経験者だったが、震災時の経験や思いを語り合い、練習を重ねた。09年から神戸ルミナリエの音楽のレコーディングにも参加。10年1月17日

「レクイエム10曲を歌い上げるコンサートを開いた。当初は、この初演が終われば解散の予定だったが、団員の希望で

「私の役目」と語る。大事な人への思いを込めて歌声を重ね合わせる団員たち。結成時からメンバーの松本義郎さん(75)＝神戸市灘区＝は「当初は重かった心が、歌うことで安らかになっていった。今は、亡くなった両親のことも思いながら歌っている」と話す。

継続が決まった。賛同の輪も広がり、09年に大規模水害に見舞われ、た佐用町、東日本大震災の各被災地のほか、広島や長崎にも合唱拠点ができた。

上田さんは週末ごとに各地を駆け回って指導している。「それぞれの地の人々の祈りを作品という形にして、希望へつなげることが

合唱組曲や「レクイエム／あの日を、あなたを忘れない」など。

午後1時半開演。一般は前売り1800円、当日2300円、高校生以下は1000円。チケットは会場の神戸文化ホールプレイガイドで取り扱い中。

問い合わせ先は上田さん(080・5181・6662)。